

響きあうジャパニーズアート

**琳派や若冲の世界と
鉄腕アトム、初音ミク、リラックマなどのキャラクターが
時代を越えて融合！**

日本美の象徴といわれる琳派、そして傑出した個性の絵師、伊藤若冲。国内のみならず海外にも広く知られて人気の高いこれらの美術作品は、後世のクリエイターをも魅了し、創造の源泉となり続けてきました。

本展で、細見コレクションの琳派・若冲作品とともにご紹介する現代の日本画「琳音」には、マンガ・アニメなど、日本のポップカルチャーを代表するキャラクターが、琳派や若冲など江戸時代の名画の一場面を借り、あるいはモチーフの一部に成り代わって登場します。意表を衝くマッチングの妙、そして背景も主役もすべて手描きによって写し取った、絵師の筆技も見どころです。

世界に発信され多くの人々に愛される古今のジャパニーズアート、その融合をお楽しみください。

本展は、2021年秋から2022年新春にかけて、国際交流基金の主催によりミュンヘン五大陸博物館で開催された展覧会「RIMPA FEAT. MANGA Japanese Malerei aus der Sammlung Hosomi」の帰国記念展です。

— 展覧会概要 —

1. 展覧会名称 響きあうジャパニーズアート
2. 会 期 2022年9月6日(火)～12月4日(日) ※展示替えあり
3. 開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
4. 休館日 毎週月曜日（祝日の場合、翌火曜日）
5. 入館料 一般 1,400円 学生 700円
6. 主催 細見美術館 京都新聞(予定)
7. 特別協力 国際交流基金 豊和堂
8. 会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
<http://www.emuseum.or.jp>
9. 本展連絡先 細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代)
広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクをご着用ください。また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

細見良行 (細見美術館 館長) 監修のもと、京都の呉服メーカーであり、日本画の工房でもある豊和堂のアートディレクター 山田晋也と、友禅絵師 平尾務が現代を描く日本画の制作プロジェクト、それが「琳音」です。

主な出品作品



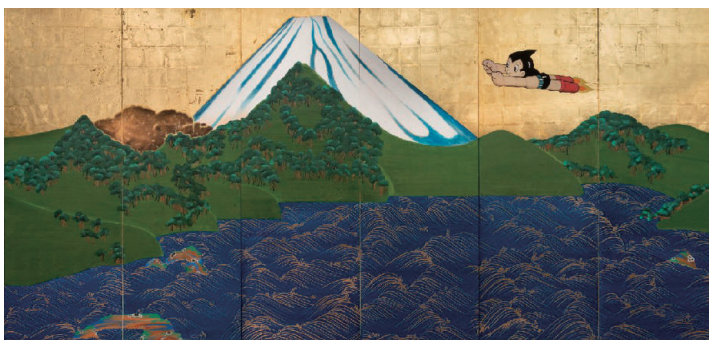
はつね 初音ミク × 鶏

illustration by iXima ©Crypton Future Media,INC.www.piapro.net piapro

様々なポーズで描かれた若冲お得意の鶏たち。
筆勢、墨の濃淡によって動きのある表情が活写
されている。
孤を描く尾羽は流麗なミクの髪の毛の流れに呼応する。



伊藤若冲 鶏図押絵貼屏風(部分) 江戸中期 細見美術館蔵



鉄腕アトム × 富士山

© 手塚プロダクション



リラックマ × 磯馴松

©2022 San-X Co., Ltd.All Rights Reserved.